

研究機関：広島大学病院

研究課題名	受診・服薬継続管理アプリの自己管理機能活用が HIV 陽性者の管理能力に与える影響
研究責任者名	広島大学病院輸血部 准教授 藤井輝久
研究期間	平成29年10月30日(倫理委員会承認後)～平成30年3月31日
対象者	平成28年2月から平成29年12月の間に、広島大学病院血液内科診療科で本院エイズ医療対策室開発のアプリケーション「せるまね」を利用された公費医療助成制度利用中の患者さん。
意義・目的	HIV 疾患患者さんが治療を継続するには安心して治療費を支払える環境が前提ですが、プライバシーや制度の煩雑さの面で心的負担となる場面の一つとして公費医療助成制度利用時が挙げられます。病院受診・服薬継続を行うには欠かす事の出来ない医療費助成制度を患者さん自身で十分理解し管理する力はある程度求められてきます。そこで、当院エイズ医療対策室では負担に感じる服薬継続・通院・制度利用管理を補助するツールとしてアプリケーション「せるまね」を2016年に開発しました。これを利用する事で自己管理能力を強化する支援を目指しています。本研究では、このアプリケーションを利用する事での影響を検討することを目的としました。
方法	本研究は、診療録（カルテ）情報を調査して行います。 カルテから使用する内容は研究担当者が面談時に確認したアプリケーション利用の有無の意思表示と、使用後の感想、未使用の感想です。（個人を特定可能な情報は解析に用いませぬ）
試料・情報の管理責任者	広島大学病院輸血部 准教授 藤井 輝久
個人情報の保護について	調査内容につきましては、プライバシー保護に十分留意して扱います。情報が個人を特定する形で公表されたり、第三者に知られたりするなどのご迷惑をお掛けすることはありませんのでご安心ください。 研究に資料を提供したくない場合はお申し出ください。お申し出いただいても不利益が生ずることはありません。
問合せ・苦情等の窓口	〒734-8551 広島市南区霞 1-2-3 T e l : 082-257-5351 広島大学病院エイズ医療対策室 職名 リサーチレジデント 村上 英子